

## 区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年1月31日（金） 19時00分から21時00分
会 場	東中野区民活動センター 洋室1, 2号
テ ー マ	災害時の円滑な避難と地域の助け合い
出席者 区 民	計 23人 （男 12人、女 11人）
区 側	区長 企画部基本構想担当課長 総務部防災担当課長 中部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
事務局	企画部職員4人、総務部職員2人、東中野区民活動センター職員2人
一時保育	無
手話通訳	無

**区長あいさつ**

今日は「災害時の円滑な避難と地域の助け合い」をテーマにして開催する。東中野区民活動センター運営委員会が発行しているニュースの冒頭に『diversity&inclusion』の表記があるが、中野区が検討中の新しい基本構想の中でも『多文化共生』、『多様性』は、キーワードとなっている。色々な人が同じ地域で、お互いを認め合い、個性を活かしながら生きていくことであり、災害時にも必要なことだ。例えば、聴覚障害者の方は、災害時に情報が手に入られずに犠牲になる事例が多い。そのような方も適切に避難できるようにしなければいけない。今日は皆さんから貴重な意見を伺いたい。

**各グループの発表概要****■避難について**

- ・ 自助の努力を行い、安全であれば在宅避難をすることが大切である。
- ・ 発災時、家に居て良いのか、避難所に行くか判断基準が分からない。
- ・ 避難所は精神的な安全という意味でも、物資や情報が集積する場所としても必要であるため、まちの中でも有効で大規模な避難所がありつづけるべきである。

**■情報について**

- ・ 水害と震災で避難所や対処法が違うが、ハザードマップが1つなのでごちゃごちゃする。2つに分ける等してほしい。
- ・ デマ等に惑わされずしっかりと情報を受け取ることを喚起して欲しい。
- ・ 災害に対する様々な情報も分からないし、どこでそのような情報を得られるかも分からない。情報の発信場所や発信者など細かい情報を予め知りたい。
- ・ 急増する外国の方への正確な情報提供も極めて重要である。

**■共助について**

- ・ 東中野に多いと思われる、単身の若者との協力関係をどう築くか。
- ・ 外国の方とどうコミュニケーションを取っていくかが課題である。
- ・ 在宅避難の場合、個別の避難生活となるため、横とのつながりが非常に大切になる。
- ・ 一人暮らしの高齢者や障害者のフォローはどうするのか。

**■水害について**

- ・ 台風19号の際、下水道から溢れて浸水した。原因究明と対策をお願いする。
- ・ 浸水の際に使用する土のうについて、使用後の回収をお願いしたい。
- ・ 子どもの通う白桜小学校がハザードマップだと3m浸水する。水害の発災時、保護者はどこに迎えに行けば良いのかなど、避難計画などを教えて欲しい。

## 発表に対する区長のコメント

### ■避難について

- ・ 自助は本当に大切だ。寝ているところの近くに重たい家具を置かないようにしていただきたい。
- ・ 東中野地域については、マンションに住んでいる方は、避難所へ行くよりも自宅にいる方が、安全な可能性が高いと思う。
- ・ 避難所は精神的な安全という面でも必要だ。

### ■情報について

- ・ ハザードマップは今日いただいた意見も踏まえて、来年度バージョンアップする予定である。
- ・ 事実に反する噂話については、区としても対策する必要がある。
- ・ 災害時は、避難所が情報センターになるので、情報を確認しに来てほしい。電話が通じれば区役所に連絡してほしい。
- ・ あらゆる人に情報を伝達できるようにする必要がある。

### ■共助について

- ・ 地震が起こった時に、体力があり支援に協力的な若者に対して、区の初動対応の中で何かメッセージを送ることも検討したい。
- ・ 日頃から周囲に知り合いを作っておくことが極めて大事であり、それが防災力を高めることでもある。

### ■水害について

- ・ 下水については至急中野区として調べて水道局に働きかけたい。
- ・ 現在は土のうを回収する制度がない。これは東中野地域の話ではないので、全体で具体的に検討させていただきたい。
- ・ 白桜小学校の個別の避難計画がある。保護者の方から心配の声があったことを学校に伝える。

### ■全体のまとめ

- ・ 地震も水害もいつ起こるか分からないというのが昨今の状況である。
- ・ 地球温暖化の影響で巨大台風がまた来る可能性も十分にある。昨年の台風19号では特に大きな被害が出なかったが、次の台風ではわからない。日頃から備えていただきたい。

区民の意見・質問(その他)	区長の回答・見解
受動喫煙防止を徹底して欲しい。新宿区は区内全域の路上喫煙を禁止であるため、わざわざ中野区に来てたばこを吸っている人が散見される。	現在は中野駅周辺にとどまっているため、禁止区域を広げるという考え方はあると思う。一方、路上喫煙禁止の条例を制定したところでマナー啓発も行わなければ効果が薄いのではないかという考えもある。
たばこ税をたばこを吸う人のために使って欲しい。喫煙所をもっと作って欲しい。そうすればもっとマナーの良くなると思う。また、入ってみたくなるような、リラックスできる喫煙所を作って欲しい。	たばこ税は目的税ではないため、分煙のために使いますとは言えない。しかし、分煙施策は今後の中野のまちづくりにおいても重要だと考えている。入ってみたくなる喫煙所については、一意見として参考にさせていただきたい。
公園や遊具が少ない。子どもが遊べる場所が欲しい。	東中野地域は公園にできる土地が少ないという問題を抱えている。少し離れた城山公園では、現在遊具を一から考えているが、東中野地域についても考えたい。
東中野駅のバリアフリー化をしてほしい。山手通りの歩道が歩行者と自転車が入り交じり危ないので、交通指導をしてほしい。また、地下鉄の出入口に放置自転車が多い。	東中野駅東口は階段しかないため、長年バリアフリー化が課題となっている。今年度、バリアフリー工事をするとしたらどれくらいかかって、どれくらいのパターンがあるのかを調査している。その結果を近々発表するが、恐らくエレベーターをつけるのは容易ではないと思う。